

シンクロ競技力向上について

現在、静岡県では中森シンクロとイールシンクロの2団体で活動しています。

全国的にも1県にクラブチームが1団体あるかないかという状況の中、静岡県内に2団体あるというのは強みでもあります。刺激し合い、競い合い、お互いが切磋琢磨して高めていく環境をしっかりと整えていきたいと思います。

しかし、ここ数年の課題は、底辺層がなかなか広がらない状況で、中学から高校、そして大学生で選手として続ける者が出てこないことです。高校生まではある程度の技術を身につけられるのですが、それ以上のものを目指したり、自分自身に挑戦することが難しく、選手としてピリオドを打つものが増えてきています。

このような状況になる一つの原因は、ジュニアからシニアへと年齢があがるとともに、かなりのレベルアップが求められ、その対応がうまく出来ていない事もあると考えられます。選手として続ける魅力を感じさせ、年齢に応じたレベルアップをしていかなければなりません。

平成23年度においては、「ユースエリート選手」として、深津彩恵（中森シンクロ）が選ばれ、10月に第1回の合宿が行われ、計3回の合宿を経てきました。また、日水連主催のジュニア合宿に浅野優菜（中森シンクロ）が選ばれ、年末に合宿を行いました。1月22日のナショナルトライアル（ジュニアナショナルチーム代表選考会）に出場いたします。二人とも、色々なクラブチームから選手が集まる合宿を経験し、周りは皆ライバルという中で練習だけでなく、心構えや行動、態度などさまざまな面で吸収することが多かったと思います。このような経験を活かし、静岡県の強化へつなげていきたいと思います。

ジュニアから次のステップへ一人でも多くつなげ、全国で活躍できる選手が輩出できるよう、指導者および関係者一同、力を合わせて取り組んでいきたいと思っています。

シンクロ委員会

田中 順子

